

# 脱原発へ・講演と音楽のつどい

- 基調講演 伊藤千尋さん(ジャーナリスト)
- ウクライナの歌姫 ナターシャ・グジーコンサート



撮影: 広河隆一

ナターシャ・グジー (歌手・バンドゥーラ奏者)



伊藤千尋 ジャーナリスト(朝日新聞記者)

2012年 3月6日(火)

## セッション杉並ホール

18時00分開場・18時30分開演～21時00分終演  
参加費(事前予約有:1,500円)・(予約無当日:2,000円)

基調講演(約一時間)

「地球を活かす! 市民が創る自然エネルギー」

ナターシャ・グジーコンサート(約一時間)

「キエフの鳥の歌」「いつも何度でも」「防人の詩」「アヴェマリア」ほか



住所: 杉並区梅里1-22-32

電車をご利用の方

◆地下鉄丸ノ内線「東高円寺」下車徒歩5分、「新高円寺」駅下車7分

バスをご利用の方

◆都営/京王バス(渋谷駅—阿佐ヶ谷駅)

「セッション杉並前」下車または「高円寺陸橋」下車徒歩<2分

◆関東バス(中野駅—五日市街道営業所)「杉並車庫前」下車徒歩5分

◆関東/京王バス(永福町—高円寺駅)「新高円寺」下車徒歩7分

未来が変わる。  
日本が変わる。



Big Street

主催:株式会社ビッグストリート お問い合わせ 03-5376-8931

主催者より・・・昨年3月11日の東日本大震災によって、引き起こされた福島第一原発の事故は、いまなお不安定な状況がつづいています。

これまでの放射能物質の拡散量だけでも、計り知れない悪影響を与えられと考えられます。

原子力と人間の共生など、けっしてありえないこと、それに気づきながらも私たちは目の前の便利な生活に流されていたのではないのでしょうか。

しかしながら、原子力発電の代用として化石燃料に依存すれば、温暖化を急加速させてしまいます。

私たちは、その代案として自然エネルギーの普及を目指し、その啓蒙活動の一環として「伊藤千尋さんの講演会」と「ナターシャ・グジーさんのコンサート」を計画いたしました。

原発のこと、これからの暮らし方のこと一緒に考え始めるきっかけにしませんか。

たくさんの方々の参加をお待ちしています。



撮影：広河隆一

~~~~~  
ナターシャ・グジー（歌手・バンドゥーラ奏者）

ウクライナ生まれ。

ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。

その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。

ウクライナの民族楽器バンドゥーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。

1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。

2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。

その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドゥーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。

2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。

コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は高校教科書にも取り上げられている。

公式ホームページ：<http://www.office-zirka.com/>



~~~~~  
伊藤千尋（いとう・ちひろ）ジャーナリスト(朝日新聞記者)

1949年、山口県生まれ。大学時代の71年にキューバで砂糖キビ刈り国際ボランティアに参加。73年、東大「ジプシー」調査探検隊長として東欧を旅する。74年、朝日新聞社に入社。外報部などを経て、サンパウロ支局長、バルセロナ支局長を歴任。2001年にはロサンゼルス支局長として、9・11後のアメリカ社会を精力的に取材。これまで世界68カ国を現地取材し、そこに生きる人びとの姿を伝えてきた。現在、朝日新聞「be」編集部所属。

また、「憲法を復興に活かそうー原発も基地もない世界を」「地球を活かす 市民が創る自然エネルギー」「活憲の時代ー憲法を活かして平和を創る」「変革の時代ー社会を変えるのは私たち」、中学・高校では「広い世界に自分を拓く」などをテーマに、年間100カ所を超えて講演。憲法を活かす＝「活憲(かっけん)」を熱く呼びかけ、世界各地を現地取材してきた体験からの話が新鮮な感動をよんでいます。

主な著書に、『地球を活かす 市民が創る自然エネルギー』（シネ・フロント社）のほか、『一人の声が世界を変えた！』（新日本出版社）、『世界一周 元気な市民力』（大月書店）、『反米大陸』（集英社新書）、『太陽の汗、月の涙』（すずさわ書店）など多数。

2011年3月11日に発生した東北・関東大震災で被災された方々へ、深い哀悼の意を表します。

お亡くなりになった方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。